

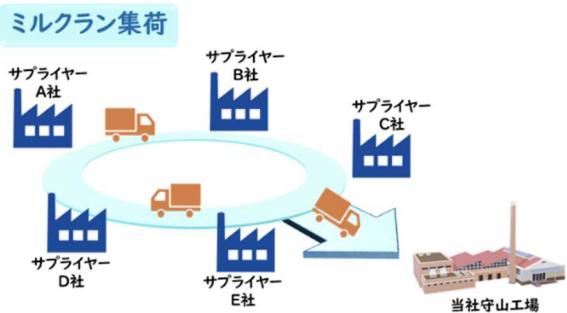
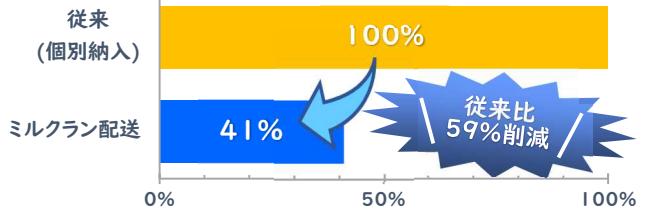
2023年11月20日

物流CO₂削減の取り組みについて

当社では、環境負荷低減の取り組みとしてScope3-15カテゴリーの内、④輸送・配送(上流)、⑨輸送・配送(下流)においてモーダルシフトや輸配送の共有化を進めています。

当社の上流として部品を製造するサプライヤー様に対して、ミルクラン(共同配送)納品の導入を検討していましたが、昨年度から実証実験を重ねた結果、各サプライヤー様から個別納品される場合と比較して、およそ6割のCO₂排出量削減が認められたことから、本年9月より正式に運用を開始しました。

現状は特定地域における一部のサプライヤー様を対象としていますが、今後は参画企業および対象地域の拡大を図り、運用枠を広げることによって、より環境負荷の少ない調達活動を進めてまいります。

ミルクラン集荷によるCO₂排出量比較

また、製品出荷では、日本貨物鉄道株式会社(JR 貨物)様、日本通運株式会社様のご協力を得て、出荷する製品の一部を鉄道コンテナ輸送に転換するモーダルシフトを推進しています。昨年9月から実運用を開始し、陸送距離における大部分をJR 貨物輸送に置き換えることで約8割のCO₂を削減しました。

今後は各造船所様への更なるご理解ご協力のもと、鉄道コンテナ輸送への適用拡大を進めることで製品納入における物流CO₂削減を目指してまいります。

モーダルシフト JRコンテナ輸送

鉄道コンテナ輸送によるCO₂排出量比較

当社グループでは、持続可能な社会を実現するために、人々の豊かな暮らしのための技術革新と環境保全の両立は欠かせないものであると考えており、環境負荷低減を全ての事業活動において推進することを果たすべき使命と捉えています。

今後も、企業理念に基づき、さまざまなステークホルダーの皆さまとの対話や協働を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

【お問合せ先】

経営企画室 広報担当

e-mail : soumu.info@dhtd.co.jp